

【令和５年度第２回ヘルスソーシャルキャピタル審議会（書面開催）】

第二次健康わこう21計画・第三次食育推進計画中間見直し（案）に関する意見集約

委員名	意見
村山会長	【健康わこう21計画】 見直し後の基本方針「ヘルスサポーターによるわがまち・わが地域の健康づくりを推進」に変更されているが、取組内容ではサポーター本人や家族の意識や行動変容しか謳われておらず、基本方針との乖離を感じたので、基本方針の見直しをするか、計画の内容を合わせたほうが良いと考える。 企業等を巻き込んだ、まち全体での健康づくり（例：スポーツジムやおふろの王様などとの協働）の推進を考えても良いのではないかな。
筒井委員	P12 令和2～3年度で社会動態が減少に転じている理由の記載してはどうか
	P15 出生率と合計特殊出生率の違いの注釈を記載した方が良い
	P24 「上位の疾患は生活習慣病であることから」を「上位の疾患として生活習慣病が少なくないことから」に修正
	P41・P72 図の凡例がわかりにくい。白黒だと違いを見分けることが困難なので、分類を変更するなどわかりやすくできないか。
	P50 達成・未達成等の表記について、いくつかのカテゴリーがあるかが分かりにくいので下記を例に表記してほしい。 ○：達成 △：一部達成 ×：未達成 全体で■項目あって、そのうち○が（ ）個、△（ ）個、×が（ ）個などに変更し、まとめの表を追加してほしい。
	P52・P53・P96 見直し後の目標値とした数値の根拠を提示してほしい。
大夢賀委員	P63 社会保険加入者のデータ（情報）把握は、一般にかなり困難であるが、市としてはどのような方策を考えているのか。
	P58「運動しやすい場の提供」について 第2期和光市スポーツ推進計画（P53～P64）に具体的な施策の書き込みがあるので、連動して記載を充実させたほうが良い。

委員名	意見
清水委員	【健康わこう21計画】 P48・P57 歯・口腔の健康維持において、60・80歳での有歯率を出しているが、自歯の残存率はその時点に至るまでのメンテナンスに左右されると思われる。可能であるなら、壮年期における口腔の健康維持も視野に入れると良いのではないか。 P59 セルフモニタリングシートの活用については、用紙のダウンロードのみではなく、可能であればアプリ形式で目にみえて自己評価が可能なものにできないか。運動のみではなく、栄養・塩分摂取についても可視化できれば良い。
	【食育推進計画】 塩分摂取について、学校給食のメニュー表には一食中の食塩相当量の記載があると思われる。アレルギー対応など家庭でメニュー表を見ることも多いと思われるので、塩分についても注意してもらえるように啓発してはどうか。 P93 学齢期の「早寝早起きあさごはん」で、中高生は生理的な睡眠のリズムが遅れてくるため、朝に空腹で目覚めることが難しくなっていると思われる。夜遅くまで起きていたり、夜食等の摂取で朝の空腹を感じないと思われる。正しい生活習慣の形成も一概に当てはめることはできないが、知識としてしっかり理解をしておくことは必要と思われる。 わこう食育推進店での情報提供の仕方に工夫がほしい。QRコードを付けて、前述したアプリにそのまま反映可能なものや、和光市のLINEを活用した情報発信の方法はどうか。
木田委員	【食育推進計画】 生活困窮者の対応として子ども食堂が広まっている。これらの活動とのかかわり合いはどうか。 フードバンクやフードパントリーの活用との関係

委員名	意見
加藤委員	「ヘルスサポーターについて」 人数を増加だけを目標にするだけではなく、活動内容を充実させるというところは大賛成。サポータだけでの活動は難しい部分があるが、お散歩マップの作成や、お散歩会の実施については、参加者も多く、寺社めぐりの企画はまた参加をしたいとの声もあった。人数を増やすことについては、民生委員や地区社協の役員会や総会などで、すでに地域活動に参加している人や団体に声をかけるという方法もあるのではないかと思う。
	「高齢者の歯・口腔の健康について」 高齢期から歯や口腔の健康に注意を向けるのは遅いのではないか。歯周病で歯ぐきが後退してしまうと、高齢になってから頑張っても歯を失うこと、かむ力の減退は止められない。歯科の定期健診も必要だと思う。
	「認知症について」 チームオレンジとは？認知症の初期は健診でわかるのでしょうか。近所づきあいの中では、「アラ？」と思うことがよくあります。その中の何人かは認知症ではないか？と思う程度の人から、周りが認知症だと知っている人もいますが、通院や服薬までつなげられない現状です。
	「孤立について」 孤立化については60代後半～70代前半あたりで社会活動に参加すると、そこでの人間関係や経験で、孤立化しないと思います。誰かのために何かのために何かする、できれば複数の人・近所の人間関係を密にし、一緒に何かに参加すると良いのではないかと思います。

委員名	意見
本間委員	・ 見直し後の目標値の根拠が必ずしも明示されていない。 ・ 課題は把握しても次の段階の積極的な施策への展開が出来ない。健診受診率、指導教室効果が少ない。 →土曜、日曜の実施や開催。資源集中のため、優先度を付け集中的に実施する施策を設定してはどうか。 ・ 朝食を毎日食べない理由として①時間がないから、②家族が作ってくれないからといった回答があったが家庭環境の問題もあるため、子ども食堂などの対策が必要ではないか。課題である。 ・ コミュニケーション、健康、食育についてSDG s に関連付けは如何でしょうか。